



# 高校生実践

## KYT マニュアル

岡山県立高梁城南高校（電気科）2年生の皆さんが、班に分かれてKYT（危険予知訓練）を実践しました。このマニュアルは、そのKYTレポートを実例にKYTのポイントを解説するものです。

KYT イメージ



労働災害  
約90%が  
不安全行動



**危険**の  
訓練が大切



左のイラストには、どんな危険がありますか。KYT を4つのラウンドに分けて行い、危険と対策のイメージトレーニングをしましょう！

**ヨシッ！！**



指差し呼称をするとミスが84%も減る(※)ので、KYT の要所で実施します。ヨシッ！

※平成6年(財)鉄道総合技術研究所



ポイント

- ① **明るく気楽**にやりましょう。ワイワイ本音で話し合ってください。
- ② 1チームは**6人**程度にして、リーダーと書記を決めましょう。
- ③ 書記以外は全員立って、**15分以内**に終わらせます。

1R：現状把握 危険を見つける

リーダーが司会をして、メンバーはイラストの危ないところをどんどん出し合います。書記は、出てきた意見をレポート用紙に書きます。模造紙を使うと意見をまとめやすいです。



不安全な状態

不安全な行動

石があるので、ボールを夢中で蹴ろうとして足を**激突する**

危険要因

現象



ポイント

- ④ “**危険要因**”と“**現象**”で表現しましょう。「**危険要因**”なので“**現象**”になる。」  
「つまり転ぶ」だけでは「現象」のみで、危険要因が不足しています。
- ⑤ “**危険要因**”を「**～なので～して**」と具体的、肯定的に捉えましょう。  
具体的とは「アリアリと目に浮かぶこと」。「悪い」「無理」「不安定」だけの表現は抽象的です。  
危険要因は、できるだけ「**不安全な状態**」と「**不安全な行動**」で表現するようにします。  
また、「ヘルメットをつけていないので～」など対策の裏返し表現はNG。「身を乗り出して～」などが肯定的です。
- ⑥ “**現象**”を「**～になる**」と事故の型で言い切りましょう。  
事故の型とは「ころぶ」「落ちる」など。「ケガをする」や「危ない」などは不要です。



1ラウンドはKYT成功のカギを握っているため、気をつけるポイントがとても多いです。意見が出そろったら、必ず具体的な表現になっているかチェックしましょう。「なぜ危ないのか」と掘り下げていくと具体的な意見になりますよ。それでは、高校生が書いたKYTの1Rを一緒に見てみましょう。  
**危険要因**と**現象**をしっかり意識できていて、素晴らしいですね！！

“危険要因”と“現象”を想定して【**～なので～して～になる**】というように書く。

1 げたをはいているので、つまずいて、むざがわれる。

**危険要因と現象**  
good!

2 ゴールの近くにいたので、球が飛んできてぶつかる。

3 水がないので水分補給ができず熱中症になる。

4 ゴール内にごみがあるので、キーパーが転倒する。

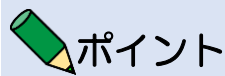


5 6 例えば、4番については「ゴール内にゴミがあるので、ボールばかり見ていてゴミに  
つまずき、キーパーが転倒する。」とすると、より具体的ですね。



## 2R：本質追及 危険をまとめる

1R で見つけた危険のなかで、重要だと思う項目に○印をつけます。○印はいくつあっても問題ありません。そこから話し合いによって最も重要な1～2項目に絞り込み「危険のポイント」として、◎印とアンダーラインを引きます。



ポイント

- ⑦ 最重要危険を考えて、危険のポイントを絞り込みましょう。  
「結果の重大さ」「起こりやすさ」「緊急性」で決めます。

“危険要因”と“現象”を想定して【～なので～して～になる】というように書く。

① げたをはいているので、つまずいて、ひざが割れる。

2 ゴールの近くにいたので、球が飛んできてぶつかる。

③ 水がないので水分補給ができず熱中症になる。

4 ゴール内にごみがあるので、キーパーが転倒する。

5

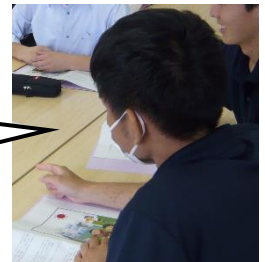
6

この班では1が特に重要と判断して、◎と下線をしています。



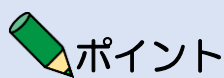
◎印の「危険のポイント」をメンバー全員で指差し唱和しましょう。

げたをはいているので、つまずいてひざが割れる ヨシッ！



## 3R：対策樹立 対策を見つける

2Rで絞り込んだ「危険のポイント（◎印）」を解決するためにどうしたらよいか、話し合いで3項目ほど対策案を出します。

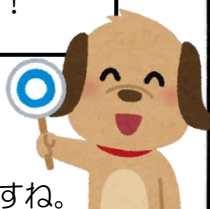


ポイント

- ⑧ 対策は「具体的」「前向き」「実行可能」なものにします。  
「注意する」「整理整頓する」などは抽象的で、「～しない」は後ろ向きなのでNG。



2Rで決めた  
「げたをはいているので、  
つまずいてひざが割れる」  
危険の対策を考えます！



この班は3つの対策を考えました。  
どれも前向きで、実行可能な対策ですね。

◎印 No.	※ 印	具体策
1		① ひざにプロテクターをつける。
		② 石を取り除く。
		③ 運動くつをばく。
		④

## 4R：目標設定 対策をまとめる

3Rで出した対策案の中から特に重要な対策を1つ決め、「重点実施項目」として**※印**と**アンダーライン**を引きます。



### ポイント

- ⑨ 重点実施項目は「**本音で実行しよう**」という内容にします。  
「～させる、～してもらう」などの他人頼みや、建前・きれいごとはNG。

◎印 No.	※印	具体策
1		① ひざにプロテクターをつける。
		② 石を取り除く。
	※	③ <u>運動くつを</u> はく。
		④

続いて、**※印**の重点実施項目を「チーム行動目標」として具体化します。「～するときは、～を～して～しよう」というように、全員の合意で「チーム行動目標」を1つ決め、指差し唱和をします。

チーム行動目標 ～するときは～して～しようヨシ	・運動するときには運動くつをはくようにして、スポーツをする。 
----------------------------	------------------------------------



### ポイント

- ⑩ チーム行動目標は、**前向き**に表現しましょう。  
「～しないようにしよう」など禁止的・否定的な表現はNG。  
「～するときは」と場面を特定し、重点実施項目をさらに具体化しましょう。

最後に、重点実施項目に関連して、実際に現場で作業中に“指を差し”“呼称”して確認するための「指差し呼称項目」を**短い言葉**で決め、指差し唱和を**3回**します。

ヨシッ!

指差し呼称項目	運動くつ装着ヨシ
---------	----------

鋭い表現か。悩む・・・



### ポイント

- ⑪ 指差し呼称で確認する対象を、**はっきり表現**しましょう。  
指差し呼称項目はチーム行動目標を「ただ短くしただけ」のものではありません。「人の行動」や「物の状態」を対象に、「何がどうなっているか」「危険のポイントが解消されたこと」が確認できるよう鋭く具体的なものとします。



指差し唱和がばっちり決まっていました。KYTは、奥が深い活動です。事業場では、毎日しても定着するのに半年ぐらいかかるつもりで、あせらず着実に実施することが大切です！

### KYT を体験した生徒の感想

- 複数人で意見を出し合うことで、自分にはない意見を聞くことができ、新しい学びを得ることができた。
- 危険だと分かっているのに、実際に言葉にしたり、具体的に考えるのはとても難しいなと思いました。KYTをやったことがなかったけど、今回してみても楽しかったです。

KYT 動画はこちら

